

# 別紙：ロボットを活用した高齢者向け声掛けサービスに関する実証実験の概要

## 本サービスの目的

- B O C C Oを活用し、家族と離れて暮らす高齢者とのコミュニケーションを行い、高齢者の生活支援を図るとともに、認知症の予防や孤独感・不安感の解消に繋げる。
- 平日昼間に家族に代わって中部電力コールセンターがコミュニケーションを行い、家族への安心の提供や、高齢者施設のサポートを図る。

### 独居高齢者 (B O C C O使用者)



B O C C O



B O C C Oを介した気軽な会話

日常の予定行動の声掛けによる忘れ防止  
(服薬の確認・通院時刻の声掛けなど)

センサ情報に基づく声掛けによる生活支援  
(エアコン動作、扉の施錠確認など)

- ・生活を安全で豊かにする情報を提供
- ・認知症の予防、孤独感・不安感の解消

### 家族



### 高齢者 施設



B O C C Oを介した中部電力コールセンターの  
オペレーターとの会話内容 (平日昼間) の確認

センサ情報の連携による生活状況の確認  
(セキュリティ、生活状況等を確認)

- ・家族 (高齢者) を見守ることで安心を提供
- ・高齢者施設をサポート

# 本サービスのイメージ



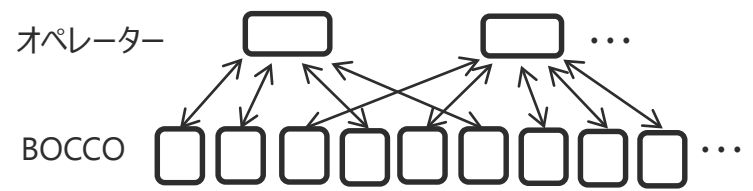
- ① 中部電力オペレーターがBOCCOを通じて高齢者への声掛け・会話を行う  
(従来のBOCCO通信システムを拡張し、オペレーター一人で複数のBOCCOとの連携※2が可能となる予定)
- ② 家族、高齢者施設職員は高齢者の会話状況やセンサ情報が常時確認できる  
(高齢者本人および家族の同意が必要)

## BOCCO・センサ仕様

本体サイズ・重量	W90×D55×H195mm, 220g
センササイズ	W67×D33×H30 mm
動作環境	WiFi環境要
電源要否	本体：電源要 センサ：電池動作(単四×2)

※1 各種センサ：振動センサ・部屋(温度・湿度・照度)センサ・鍵センサ・人感センサ の4種類

※2 複数のBOCCOとの連携イメージ：

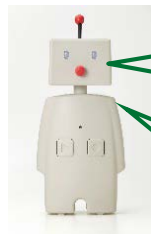


## 実証実験での確認事項

- 本サービスをイメージした実証実験を行い、以下の点を確認する。
- オペレーター1人と複数のBOCCOとのコミュニケーションに関する課題 (専用ソフトの性能確認)
  - 会話内容やセンサ情報から高齢者の生活支援に繋がる情報が得られるか (情報の適格性の確認)

# BOCCOを通じたコミュニケーション例

予め登録した内容  
(今日の予定など)の声掛け



そろそろ病院へいく時間だよ！

お薬忘れずにのんだ？



忘れていたわ！

日常の会話



〇〇さんとお茶をしてきたのよ

どんな話をしたの？



予め設置したセンサの  
情報に基づく声掛け



お部屋暑いよ。エアコンつけて！

つけ忘れていたわ！ありがとう



例：室温が28℃を  
超えた(温度センサ)

予め設置したセンサの  
情報に基づく見守り



家族



高齢者施設 管理室

例：朝しばらくしても  
寝室からでてこない  
(人感センサ)

状況確認  
(専用アプリ)

母の様子を見に  
行ってください

様子を見に行ってきます！

## (参考) 参加企業の概要

### ○中部電力株式会社

代表取締役社長	勝野 哲
所在地	愛知県名古屋市東区
事業概要	電気事業およびその附帯事業、ガス供給事業など

### ○ユカイ工学株式会社

代表	青木 俊介
所在地	東京都新宿区
事業概要	ロボット、ハードウェアの開発・製造・販売

### ○株式会社プレステージケア東海

代表取締役	伊藤 和宏
所在地	愛知県名古屋市中区
事業概要	ミサワホームグループの介護関連子会社 高齢者住宅の運営、介護福祉サービス、コンサルティング